

【事業の実施方針】

山口県オリジナル柑橘「せとみ」について、袋掛け等の栽培技術とマルドリ方式を組み合わせ、施設の共有によるコスト削減と団地化の実証ほを設置し、現地検討会等を開催し「せとみ」のマルドリ栽培等による高品質果実生産技術の普及・定着を促進する。

【成果目標及び達成状況】(H25. 3月末現在)

平成23年度(基準年):0.8 ha

平成24年度 :0.8 ha

平成28年度(目標年):6 ha

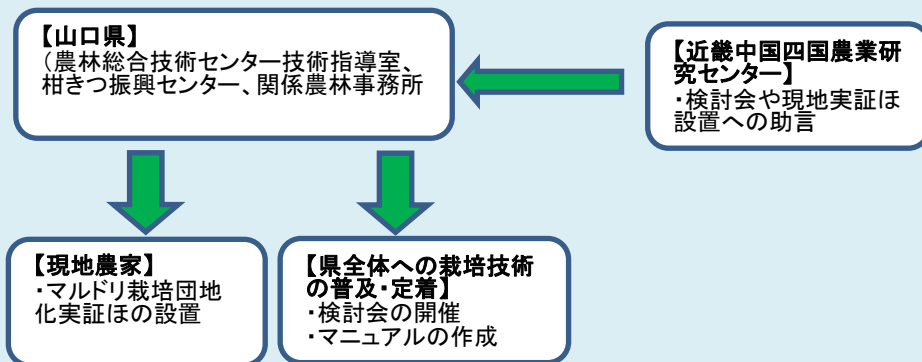
新技術の内容

マルドリ方式による高品質かんきつ栽培技術 (近畿中国四国農業研究センター H20)
柑きつ「せとみ(ゆめほっぺ)」の栽培、品種保持技術 (山口県農林総合技術センター柑きつ振興センター H19)

技術実証の成績等 (H24)

- ・実証ほの設置予定箇所について、周防大島町久賀上田ヶ丘地区の関係農家4戸、関係面積90aで調整し、実証ほの設置方法を検討した。
- ・現地調査、検討会を開催し、実証ほ設置に向けての課題を整理した。

実施体制図 (研究・行政等との連携、役割分担等)



技術実証及び技術普及における課題 (H24)

- ・現地検討会では、マルドリ栽培システムについて、近畿中国四国農業研究センター、山口県農林総合技術センター柑きつ振興センターの担当者より関係農家へ栽培システムの概要を説明し、農家より疑問点(灌水チューブの配置方法や点滴灌水での根の分布等)が出され回答した。
- ・農家個々のこれまでの栽培方法を尊重したシステム構築をしていく。

24年度事業の取組内容

【実証ほ設置のための現地調査 8回 (7月~3月)】

農業革新支援専門員が中心となり、現地普及指導員、柑きつ振興センター担当者と実証ほ設置、検討会の開催について調査検討。

【現地検討会の開催 2回 (8、3月)】

農業革新支援専門員が中心となり、関係普及指導員、柑きつ振興センター担当者、実証ほ予定農家と「せとみのマルドリ栽培等による品質向上対策」について現地調査検討。

【先進地視察 1回 (7月)】

農業革新支援専門員が近畿中国四国農業研究センター主催のかんきつ生産技術関連現地検討会への参加を調整



次年度に向けた課題への対応方針

- ・実証ほの設置検討と設置(1カ所)
関係農家4戸の意向を聞きとり、システムへ反映させる。
- ・実証ほの現地調査(生育調査、果実品質、収量、経営費等)
- ・実証ほ成績検討会の開催(関係機関担当者、地区農家他)
- ・先進地視察調査、情報交換(長崎県と連携)